

平成 24 年 光 遍 寺 行 事 予 定

3月17日(土)~23日(金)

春の彼岸会

毎晩 午後7時30分より

4月14日(土)、15日(日)

春の永代経・花祭り

花祭り：14日午前11時より

昼座：午後2時より

夜座：午後7時30分より

【布教使】

大塔町 光圓寺
神田 光憲 先生

6月?日(土)

第31回法灯の宴

8月10日(金)、11日(土)

お盆の永代経

昼座：午後2時より

夜座：午後7時30分より

【布教使】

宇陀市 眞證寺
高沢 邦雄 先生

9月19日(水)~25日(火)

秋の彼岸会・天皇会

毎晩 午後7時30分より

10月13日(土)、14日(日)

報 恩 講

昼座：午後2時より

夜座：午後7時30分より

13日昼座後 お齋あり

【布教使】

橿原市 正蓮寺
小林 明 先生

10月18日(木)、19日(金)

第35回念仏奉仕団

12月31日(月)、1月1日(火)

除夜会・修正会

カレンダーに記入いただき、一度でも多く光遍寺にお参りください。

仏華：赤井正一様



謹 賀 新 年

新年明けましておめでとうございます。決まり文句になっていきますので、「明けましておめでとうございます」と言いますが、私も含め、何が「おめでとう」なのか分からずに使ってしまっています。「めでたい」の語源は、「愛(め)でる」+「甚(いた)し」+「愛(め)で甚し」らしいのです。「愛でる」とは、心がひかれ、いとしく思ったり、素晴らしいとしたりすること、「甚し」とは、程度がはなはだしということ。つまり、自分が、喜んでいられる相手の姿を見て、心がひかれ、いとしく思ったり、素晴らしいと感じたときに、「おめでとう」と使うのです。

いつ終わってもおかしくない命を今奇跡的にいただき、こうして新しい年を共に迎えることができ、有り難い：心からそう慶び感謝する人の姿を見たとき、心打たれて思わず発する言葉が「明けましておめでとうございます」なのでしょう。確かに、本当に気持ちをこめて「おめでとう」と伝えている時は、相手とか自分とか関係なく、お互いが一体となって、その想いに惹かれあっているときですね。さあ、もう一度心を込めて言いましょ！
**明けましておめでとう
ちぎらますー！！**
今年もよろしくお願ひいたします。

今年の光遍寺の目標

一人でも多く、一度でも多く光遍寺にお参りを

年頭には、今年の目標を立てるものですが、光遍寺としても目標を立てたいと思います。今年は『本堂がいっぱいになるほど、お参りしていただく』ということにします。平成二十四年の光遍寺では、左に示したように法要等の行事予定があります。一人でも多く、一度でも多く光遍寺にお参りいただき、「ここは私のお寺」との意識をもつていただきたいです。そして、人生にとって大切なものに気が付き、それを忘れず生活していただきたいと思えます。お参りし慣れていない方にとっては、光遍寺の敷居は高く感じるかもしれません。でも、一度足を運んでいただくとその心配はなくなり、楽しい場所、落ち着く場所だと気付いていただけることと思いません。是非、一度お参りを。

光 遍 寺 新 聞



第 22 号

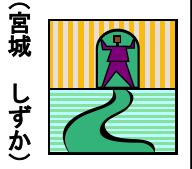
発行所

〒638-0315
奈良県吉野郡
天川村沢原141
浄土真宗
本願寺派
仏照山
光遍寺

電話番号
0747-63-0638
ホームページ
<http://www.kouhenji.org>

今月の法語

名号と
いうものは
仏の世界に
出遇う
唯一の通路である



光遍寺団体参拝

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要



上写真：吉野南組団体参拝

下写真：光遍寺団体参拝

平成二十三年十一月十日（木）、光遍寺単独で親鸞聖人七百五十回大遠忌法要に団体参拝いたしました。

六月には吉野南組として団体参拝をしたのですが、五十年に一度の貴重な仏縁であり、あまりにも法要が素晴らしいために、光遍寺単独でも参拝できないものと総代様が企画してくださり実現したものです。三十名の方が参拝され、

皆さん法要の迫力に圧倒され、雰囲気魅了されて帰ってこられました。中には二度目の参拝の方までおられます。個人的に参拝されておられる方も多く、合計するとかなりの方が参拝したことになります。

この大遠忌法要を縁として、今後も親鸞聖人のみ跡を慕い、益々み教えに耳を傾ける生活をしていかなければと決意する次第です。

阿弥ちゃん!!



おせち料理
おいしい?

微妙びみよこは
本来仏教では
みよここと読み、
比べるものがない
ほど
深遠ですぐれてい
るといふ意味です。

なぜか現在の
流行語では
判断に困るときや
簡単に同意できな
い時に
否定的な意味で
使われます。



門信徒 広場

今年も光遍寺では様々な法要が執り行われます。年々過疎化・高齢化が進む中で、秋の永代経は廃止されましたが、その他の法要は昔から存続しています。一つ一つの法要の意味を味わいながら、是非お参りください。

さて、ここで問題です。各法要にはどのような意味があるのでしょうか？
それぞれ正しいものを下から選んでください。

- ①花祭り ②永代経 ③彼岸会 ④報恩講

- ア. 墓参りをして、ご先祖をまつだけではなく、ご先祖を通じて、仏様の世界に往かれた先祖を偲び、私達の生命の行方を知らせていただく大切な日本独特の行事です。
- イ. お釈迦様の誕生日をお祝いする行事です。お誕生日は4月8日だと伝えられており、この日を中心にお祝いをします。花御堂の中に誕生仏を安置し、この像に甘茶を注いでお参りします。
- ウ. 90年のご生涯をかけて、私達にお念仏のみ教えを明らかにし、伝えてくださった親鸞聖人のご恩徳を偲び、お念仏のみ教えに生き抜こうとの思いから勤める法要で、浄土真宗の門信徒にとっては最も大切な法要です。
- エ. 未永くお経が読まれるという意味で、お寺が存続し、み教えがますます盛んになるようにとの思いから勤められる法要です。故人を縁としてお寺に参詣し、故人を追慕し報恩の喜びをするとともに、自身が聞法のご縁をいただきます。

(答え方の例)

「①がア、②がイ、③がウ、④がエ」

分かった方は遠慮なさらずに光遍寺までご連絡ください。正解者先着5名様まで記念品を用意しています。

《前号(第21号)門信徒広場の答え》

正解

①：南無阿弥陀仏(6字)

②：親鸞聖人(4字)